



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。おとめイスラエルよ、わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。(エレミヤ 31:3~4)」



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0027 横浜市緑区長津田 7-17-16-503 TEL:090-8729-0856
- ホームページ：<http://eli.holy.jp> ●メール：eternalloveisrael@gmail.com
- 銀行口座：三菱東京UFJ銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル

代表：宮本 純子

☆イスラエル柔道選手チームを支援

宮本 純子 ☆



ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。

愛するみなさま。いつもお祈りと尊い献金でエターナル・ラブ・イスラエルを支えてくださり本当にありがとうございます。心から感謝致します。

8月、私は、神様にみなさまから頂いた尊い献金を感謝し、使い道を明確に示して下さるよう祈りました。

数日後、日本武道館で開催される2019年世界柔道選手権大会に参加するためにイスラエルから柔道チームが来日し、事前キャンプを横須賀学院(ミッションスクール)で行うが、そのためのウエイト設備や交流会、歓迎会の資金が不足しているため、支援をお願いしますと、要請がありました。

私は神様に感謝し、すぐにエターナル・ラブ・イスラエルとしてイスラエル柔道チームを支援しました。すると、8月20日に開催された横須賀学院交流会と歓迎会に招待されたので出席しました。公開練習、交流会と歓迎会では、私の紹介もして頂き、挨拶し、全く何も知らないでオレン・スマジャコーチ(バルセロナオリンピック71キロ級銅メダリスト)の隣に座席しました。

「1995年の世界柔道選手権大会の時に、古賀稔彦に負けて銀メダルだったけど、今度は金をとりたい。」と、オレン・スマジャコーチが話してくださったので、「金メダルをとれるようにお祈りします。」と、私は言いました。

イスラエル柔道チームのみなさんと楽しい素晴らしい時間を過ごしました。

8月25日から9月1日、日本武道館にて2019世界柔道選手権大会が開催され、フジテレビ系列で放送されました。

28日の81キロ級男子決勝戦で、オレン・スマジャコーチの愛弟子であるサギ・ムキ選手が優勝し、金メダルをとりました！神様に心から感謝します！

サギ・ムキ選手は、4歳の時からオレン・スマジャコーチの指導を受け、今回の世界柔道選手権大会で、イスラエル柔道にとって初となる金メダルという悲願達成を果たしました。日本武道館にイスラエル国歌ハティクバが流れました。

サギ・ムキ選手の決勝戦の映像に、オレン・スマジャコーチの姿がずっと映っていて、優勝した瞬間、喜びの涙を流しているのを見て、私も胸が熱くなりました。

来年2020年の東京オリンピックでもイスラエル柔道チームを応援していきますので、よろしく願い致します。東京オリンピックに出場する競技のイスラエル選手たちが日本で救われますようにお祈りください。

☆日本とイスラエルの空の直行便をありがとう☆



去る8月16日、8月に離任された元駐日イスラエル大使館参事官(広報・報道・観光担当)ヨナタン・レベルさん講師のスタートアップ講習会に出席しました。

2020年3月から週3回、成田空港とテルアビブのベングリオン空港を結ぶ待望の直行便が就航します。運航するエルアル航空で約12時間です。日本とイスラエルがさらに近くなり、あらゆる分野で交流と提携が進むと思われます。ヨナタン・レベルさんは、何年も直行便の就航を願い、両国の政府、大使館、エルアル航空や日本の観光業界、企業など、多くの方々に働きかけてくださいました。

現在、イスラエルには、約80社の日本企業があり、日本からイスラエルへの観光客も増えているそうです。直行便によって日本とイスラエルの企業との提携が進み、交流も盛んになり、イスラエルから日本への観光客も増加することでしょう。神様に心から感謝致します。

「なぜイスラエルでサイバーセキュリティやハイテクが進んだのか？それは、イスラエルがモノを作らなければならない国であり、チョイス出来ない状況にあり、新しい技術を作るしかないからです。」と、ヨナタン・レベルさんは語ってくださいました。

日本とイスラエルの空を近く結んでくれる直行便の就航のためにご尽力くださりありがとうございました。

☆ダニエル・ゴールドスタイン師との出会い☆



昨年、エターナル・ラブ・イスラエル特別集会を3回開催しましたが、今年は伝道に励むように主は導いておられます。来年は、メシニック・ジューの素晴らしい講師をお招きしてエターナル・ラブ・イスラエルの集会を開催できるようにと祈っています。主が最善に導いてくださると信じています。

去る9月8日、主は素晴らしいメシニック・ジューと出会わせてくださいました。

ダニエル・ゴールドスタイン師は、エルサレムに在住です。Jewels of Judaism Publishing and Sabbath Housing を創設し、ディレクターとして精力的に活動しています。ヘブル言語学とユダヤ人文化の観点から聖書を教える活動をしています。「コミュニティにおける安息日の実践」(仮邦題)「第三神殿:メシアの再臨のしるし」(仮邦題)の著者です。コメンテーターとしてキリスト教信仰のユダヤ

人ルーツについて頻繁に発表しています。オーストラリアのツアー会社と一緒に働き、クリスチャンの観光客向けに安息日の食事を紹介し、ホストも務めています。ユダヤの文化や背景を知り、誤解のないように聖書を深く理解できるようにサポートしています。

今回、初来日で聖書理解が深まる素晴らしいメッセージをたくさん語ってくださいました。ダニエル・ゴールドスタイン師は、安息日の実践について重きを置いておられるので、安息日について特にメッセージをされました。

安息日は、創世記で、主が創造のわざを終えられて7日目に休まれたことを覚えます。安息日は、金曜日の日没から翌日の日没までの聖なる日です。聖書の祭りは年に1度ですが、安息日は毎週です。安息日は、他の聖書の祭りの土台となっているので、安息日を理解することが大切です。

ダニエル・ゴールドスタイン師の働きが主に祝福されますよう心からお祈り致します。

エターナル・ラブ・イスラエルの特別集会を開催するために良きメシニック・ジューの講師をお招き出来ますようどうか覚えてお祈りください。

☆アート・ミニストリーの働きから☆



去る9月14日から16日、みどりアートパークにて「キャットミックス展」を開催し、絵を出展させて頂きました。

今回は、メッセージ付きで「罪なき者が投石せよ」というタイトルで出展しました。200人近い来場者の方が絵の前で立ち止まり、メッセージをじっくりと読んでくださいました。

絵を通して、聖書の御言葉と出会う良き伝道の機会となるように、主に用いて頂ければ感謝です。

これからも福音を伝える道具となるように絵を描いてまいりますので、どうか用いられるようにお祈りください。

☆ローシュ・ハシャナ(ユダヤ新年)5780年☆



今年は、9月29日の日没からローシュ・ハシャナ(ユダヤ新年)5780年を迎えました。ユダヤ暦は、西暦に3760年を足した年数に等しいですが、これはラビたちが聖書に基づいて天地創造から計算したという年数を採用したものです。ユダヤ暦の新年は、西暦では9月、ティシュレ月(第7の月)1日から始まります。

旧約聖書のレビ記23章には、「第7の月1日をあなたの安息の日とし、角笛(ショファール)を吹き鳴らして記念する聖なる集会の日としなさい」とあります。この第7の月1日が、ローシュ・ハシャナとして祝われる日です。週の7日目が安息日で聖なる日であるように、月の第7番目は1年のうちで聖なる月です。同様に、年についても7年目は安息年であり聖なる年と見なされます。

レビ記23章には、「第7の月の10日は贖罪日である」とあります。ローシュ・ハシャナから10日目に贖罪日(ヨム・キプール)が来ます。聖書には、1日と10日を特に結び付けていませんが、ユダヤ教では暦のうえで、この10日間を特別な日々と見なしてこの期間を一体に考えています。そして「畏れの日々(ヤミーム・ノライーム)」とか「裁きの日」とか言われます。

29日、私は、アメリカンクラブで開催された在日ユダヤ人たちの新年会に出席しました。200人近いユダヤ人が出席し、一緒にお祝いました。

私は、イスラエルから来た家族と仲良くなりました。シャイさんは、エルサレムのヘブライ大学でアジア学科をご卒業されたので流暢な日本語を話します。

「何故ヘブライ語を学ぶの?」と、スタッフが聞かれ、「私たちはクリスチャンなので、聖書をヘブライ語の原文から読んで学びたいから。」と、答えました。

伝道の良き機会となり本当に感謝です。

ローシュ・ハシャナ(ユダヤ新年)の特別な意味のあるおせち料理は、林檎をハチミツに浸して食します。他にも人参、長ネギ、赤かぶ、ナツメヤシの実、カボチャ、ザクロ、魚料理を食します。

新しい5780年が、イスラエルにとって、またみなさまにとっても、林檎のように丸くてハチミツのように甘い年となりますように。神様の素晴らしい祝福が益々満ち溢れますように心からお祈り申し上げます。

シャナートバー(良いお年を)!!

☆祈りのリクエスト☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)



- 神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、平和の町であるエルサレム、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心だけが成ります様に。
- トランプ大統領、ネタニヤフ首相はじめ、世界中の政治的指導者たちが救われて、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を平和に進めて行く事が出来ます様に。
- イスラエルと日本の政治・文化、あらゆる面で交流が祝福されますように。

- イスラエルに対するあらゆる攻撃、又、テロ等が起こらない様にお守りください。
- イスラエルの周辺諸国との関係のために。シリア、ヨルダン、エジプト、イラン、イラク、トルコ、レバノンなどの各国との関係を神様が最善に導いてくださいますように。
- パレスチナ問題のために。和平プロセスを神様が最善に導いてくださいますように。
- フランス、イギリス等は、反ユダヤ主義の動きが強まっていますが、正しい聖書理解の上に立ち、ヨーロッパから反ユダヤ主義がなくなります様に。又、国連とEUが真に公正、公平な機関になります様に。
- 世界中に住んでいるユダヤ人に福音が伝えられ、全てのユダヤ人がイエス様を信じて救われます様に。
- イエス様を信じているメシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエルがリバイバルされます様に。又、日本がリバイバル、世界中がリバイバルされて、神様の御心がこの地に成ります様に。
- 在日ユダヤ人、又、日本を訪問し滞在するユダヤ人にトラクトも用いられ、多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われます様に。その為に私達が情熱を持って、神様の愛でおもてなしをし、伝道する事が出来ます様に用いて下さい。又、ユダヤ人伝道の重荷を持つ後継者達が起こされます様に。
- 日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。

☆2019年冬のユダヤの祭り☆



- ハヌカ(宮きよめの祭り) 12月22日(日)日没から。
ハヌカというのは、ヘブライ語で「奉納」とか「献堂」という意味です。祭りはユダヤ暦キスレブ月の25日から8日間祝われます。神殿を占拠したギリシア軍は、神殿の燭台(メノラー)を点す油の壺をみな汚した。しかし神殿解放の日、1つの油壺が大祭司の封印のまま見つかった。油はわずか1日分にも満たなかったが、点してみると何と8日間も燃え続けたのです。この奇跡を記念した祭日です。ハヌカは別名、「光の祭り」とも呼ばれます。ハヌカには特別な燭台を用います。神殿にあった7枝のメノラーではなく、8枝(台)ともう1つのろうそくをつける台がついていて、9本の燭台です。これはハヌキヤと呼ばれます。1日ごとに1本ずつふやして点火していき、8日目に全部が点るようにします。点火用のろうそくは、「シャマシュ」という呼び名がついています。

2019年10月 秋号発行